

基礎病理

責任者名：浅野 正岳

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

◆担当教員

浅野 正岳(病理学 教授)

福井 怜(病理学 助教)

角田 麻里子(病理学 助教)

山本 安希子(病理学 助教)

◆一般目標 (GIO)

病理学は基礎医学と臨床医学を結びつける重要な学問である。臨床医として適格な診断を下すためには是非とも身に着けるべき知識となる、病気の原因を追究し、重症度を判定する力を養い、臨床に応用できる知識を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

- ①病理学の役割について説明することができる。
- ②炎症、循環障害、代謝障害について説明することができる。
- ③腫瘍、感染症について説明することができる。

◆評価方法

成績は第1回平常試験、第2回平常試験および定期試験を加味した総合評価とする。

評価配分は、第1回平常試験：30%、第2回平常試験：30%、定期試験：40%の予定である。

これらの試験については、試験終了直後にフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
浅野 正岳	水曜日 17:00～18:00 本館6階病理学研究室	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	メールにて対応
福井 怜	水曜日 17:00～18:00 本館6階病理学研究室	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	メールにて対応
角田 麻里子	水曜日 17:00～18:00 本館6階病理学研究室	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	メールにて対応
山本 安希子	水曜日 17:00～18:00 本館6階病理学研究室	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	メールにて対応

◆授業の方法

指定した教科書のどこに何が記載されているのかを明確に示しつつ、スライドを使って授業を進める。また、関連資料を配布し、理解を深めさせる。2回の平常試験をおよび定期試験により理解度を判定する。

【実務経験】

浅野正岳：30年以上にわたって病理診断業務に携わってきた経験を活かし、口腔病理の理解のために必要な病理学総論について講義する。

福井怜：全身の病理組織診断に携わってきた経験から、病理学総論の重要性について講義する。

角田麻里子：臨床系大学院を修了した経験から、歯科臨床における病理学の重要性について講義する。

山本安希子：シェーグレン症候群に関するこれまでの研究の経験を踏まえ、免疫系疾患について講義する。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	標準病理学 第6版	坂本穆彦 ほか	医学書院	2019
参考書1	新口腔病理学 第3版	下野正基 ほか	医歯薬出版	2022
参考書2	病理学総論にもとづく口腔病理学 第3版	井上孝 ほか	永末書店	2022

◆DP・CP

・DP3：生涯にわたってリサーチマインドを持ち続けるための基礎となる、論理的・批判的に思考することができる能力

・CP3

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：歯科医学・医療に関わる科学的情報を適切に収集できる。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書・参考書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

28回の内容については参考書1（pp.312-321）で、29回の内容については参考書1（pp.323-330）で予習しておくこと。

◆準備学習時間

各々講義時間相当を充てて授業内容の予習・復習（60分×2）を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

生理学（2年前期）

解剖学（2年前期）

組織学（2年前期）

生化学（2年前期）

細胞と生体機能（2年前期）

感染と免疫（3年前期）

薬理学（3年前期）

基礎病理実習（3年前期）

臨床口腔病理学（3年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.10	5	2. 細胞の損傷 3 4)組織修復・再生 (1)創傷治癒 (2)再生 (3)幹細胞 5)進行性変化 (1)肥大 (2)過形成 (教) pp.16-30	進行性変化について学修する。 ・肥大について理解する。 ・過形成と具体的な病変について学修する。	角田 麻里子	A-5-2 細胞障害
2		4.10	6	3. 炎症 1 1)炎症とは (1)定義 (2)原因 (3)プロセス	・炎症の定義を説明できる。 ・炎症の物理的, 化学的, 生物学的原因について説明できる。 ・炎症のメカニズムについて説明できる。 ・炎症性細胞の種類について説明できる。 ・種々のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・ケミカルメディエーターの作用について説明できる。 ・炎症の形態学的特徴について理解する。 ・炎症の分類について学修する。	浅野 正岳	A-5-5 炎症
3		4.17	5	3. 炎症 5 6) 特異(肉芽)性炎 (教) pp.58-60	・結核, 梅毒, ハンセン氏病など特殊な肉芽腫を形成する病変について学修する。	浅野 正岳	A-5-5 炎症
4		4.17	6	4. 循環障害 1 1)循環系の構造と機能 2)水腫 3)充血とうっ血	・循環系の種類と構造について説明できる。 ・循環系の機能について説明できる。 ・水腫, 充血, うっ血などの基礎に	浅野 正岳	A-5-4 循環障害

				4)出血 5)血栓症 6)塞栓症 (教) pp.161-176	<p>ついて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出血とは何かについて説明できる。 ・血栓および血栓症について説明できる。 ・塞栓および塞栓症について学修し、血栓との関係について説明できる。 		
5		4.24	5	4. 循環障害 2 7)梗塞 8)ショック 9)側副循環 10)高血圧・低血圧 (教) pp.176-188	<ul style="list-style-type: none"> ・梗塞について説明できる。 ・抜歯との関連で重要なショックについて説明できる。 ・側副循環の意味とそれに伴う病変について説明できる。 ・高血圧・低血圧の機序について説明できる。 	浅野 正岳	A-5-4 循環障害
6		4.24	6	4. 循環障害 3 11)貧血 (教) pp.282-284	<ul style="list-style-type: none"> ・貧血の機序について説明できる。 ・貧血の種類、貧血に関連した病変について説明できる。 	浅野 正岳	A-5-4 循環障害
7		5.1	5	5. 代謝障害 1 1)糖代謝異常 (1)糖代謝の概要 (2)糖尿病 (教) pp.136-144	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝障害の概念について説明できる。 ・糖代謝の概要と糖尿病の発症について説明できる。 ・糖尿病と関連した病変について説明できる。 	浅野 正岳	A-5-2 細胞障害
8		5.1	6	5. 代謝障害 2 2)脂質代謝障害 (1)中性脂肪の代謝異常 (2)動脈硬化 (3)メタボリック症候群 (教) pp.144-155	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質代謝について説明できる。 ・脂質の種類と疾患について説明できる。 ・動脈硬化の機序について説明できる。 ・メタボリック症候群の概念について説明できる。 ・メタボリック症候群と歯周病の関連について説明できる。 	浅野 正岳	A-5-2 細胞障害
9		5.8	5	5. 代謝障害 3 1)硝子滴変性	<ul style="list-style-type: none"> ・尿細管上皮細胞に生じる硝子滴変性を観察し、腎ネフローゼを理解す 	浅野 正岳	A-5-2 細胞障害

				<p>(腎)</p> <p>2)脂肪変性 (肝)</p> <p>3)動脈硬化症</p> <p>4)うっ滞性黄疸</p> <p>(教) pp.155-167</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脂肪肝の標本で,実質臓器である肝の脂肪変性を学修する。 ・動脈硬化症の標本により,アテローム (粥腫) を理解し,局所における細胞の反応を観察する。 ・うっ滞性黄疸の標本により、ビリルビンの代謝障害を観察する。 		
10		5.8	6	<p>5. 代謝障害 4</p> <p>3)色素代謝異常</p> <p>4)無機物代謝障害</p> <p>(教) pp.167-173</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色素の種類について説明できる。 ・無機物の種類について説明できる。 ・歯科との関連の深い重金属の代謝障害について説明できる。 	浅野 正岳	A-5-2 細胞障害
11		5.15	5	<p>6. 腫瘍 1</p> <p>1)定義</p> <p>2)分類</p> <p>(教) pp.248-254</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の概念を理解する。 ・腫瘍の定義を説明できる。 ・腫瘍の分類について理解し, その種類を説明できる。 	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍
12		5.15	6	<p>6. 腫瘍 2</p> <p>3)異型性</p> <p>4)癌の広がり方</p> <p>5)進行度</p> <p>(教) pp.255-264</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異型性の概念を説明できる。 ・腫瘍の広がり方について説明できる。 ・腫瘍の進行度について説明できる。 	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍
13		5.22	5	<p>6. 腫瘍 3</p> <p>6)腫瘍の生物学</p> <p>(教) pp.264-278</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍細胞の生物学的特性について説明できる。 ・腫瘍細胞の増殖と腫瘍の成長を説明できる。 ・転移のメカニズムについて説明できる。 	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍
14		5.22	6	<p>6. 腫瘍 4</p> <p>7)腫瘍の発生</p> <p>8)癌遺伝子・抑制遺伝子</p> <p>(教) pp.278-289</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍発生のメカニズムを説明できる。 ・発癌の多段階学説を説明できる。 ・腫瘍と遺伝子変化との関係を説明できる。 	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍
15		5.29	5	<p>6. 腫瘍 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍免疫の考え方を学び, 腫瘍の 	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍

				9)腫瘍免疫 10)疫学 (教) pp.289-293	治療法について説明できる。 ・日本人の癌に関する疫学的事項について説明できる。		
16		5.29	6	6. 腫瘍6 11) 良性腫瘍と悪性腫瘍 (教) pp.249-254	・ 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍
17		6.5	5	6. 腫瘍7 12) 癌腫 13) 肉腫 (教) pp.249-254	・ 上皮性組織由来の悪性腫瘍について説明できる。 ・ 非上皮性組織由来の悪性腫瘍について説明できる。	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍
18		6.5	6	7. 白血病 1)骨髄性白血病 2)リンパ性白血病 (教) pp.313-324	・ 白血病の分類と病態について説明できる。 ・ 骨髄性白血病とリンパ性白血病について説明できる。	浅野 正岳	A-5-6 腫瘍
19		6.12	5	平常試験1	授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。 試験後にフィードバックを行う。	浅野 正岳	A-4-2 免疫
20		6.12	6	8. 免疫と疾患1 1)自然免疫系と獲得免疫系 (教) pp.96-115	・ 免疫系の自己と非自己を識別するそのメカニズムについて説明できる。 ・ 自然免疫系と獲得免疫系の種類と関連する細胞について説明できる。	山本 安希子	A-4-2 免疫
21		6.19	5	8. 免疫と疾患2 2)臓器移植に関連した免疫反応 3)アレルギー (教) pp.114-118	・ 移植に関連する免疫応答についてそのメカニズムを説明できる。 ・ アレルギーの種類とそのメカニズムについて説明できる。	山本 安希子	A-4-2 免疫
22		6.19	6	8. 免疫と疾患3 4)自己免疫疾患 5)免疫不全症候群 (教) pp.119-133	・ 免疫学的寛容の基礎について説明できる。 ・ 自己免疫疾患の種類と発症機序について説明できる。	山本 安希子	A-4-2 免疫

					・ HIV 感染と免疫不全について説明できる。		
23		6.26	5	9. 感染症 1 1)感染経路 2)感染と化膿性炎症 3)日和見感染 (教) pp.69-73	・ 感染症の定義について説明できる。 ・ 感染経路の種類について説明できる。 ・ 歯科における感染と化膿性炎症の位置付けについて説明できる。 ・ 日和見感染について説明できる。 ・ 日和見感染と全身疾患について説明できる。	浅野 正岳	A-4-1 微生物と感染
24		6.26	6	9. 感染症 2 4)ウイルス感染症 5)細菌感染症 (教) pp.73-84	・ ウイルスの種類と感染の基礎について説明できる。 ・ 歯科における細菌感染症の重要性について説明できる。	浅野 正岳	A-4-1 微生物と感染
25		7.3	5	9. 感染症 3 6)真菌感染症 (教) pp.84-91	・ 歯科における真菌感染症の重要性について説明できる。	浅野 正岳	A-4-1 微生物と感染
26		7.3	6	10. 全身性疾患 1 1)遺伝性疾患 (1)染色体異常による疾患 (2)遺伝子異常による疾患 (教) pp.207-245	・ 遺伝性疾患とは何かについて説明できる。 ・ 染色体異常と遺伝子異常の違いについて説明できる。	福井 怜	A-5-1 病因論と先天異常
27		7.10	5	10. 全身疾患 2 2) その他の疾患 (教) pp.207-245	・ 代表的疾患について学修する。症候群とは何かについて説明できる。 ・ 代表的症候群の基礎について説明できる。	福井 怜	A-5-1 病因論と先天異常
28		7.10	6	10. 全身疾患 3 3)口腔内に徴候を	・ 口腔内症状と症候群との関連について説明できる。	福井 怜	A-5-1 病因論と先天異常

				示す症候群 (参1) pp.312-321			
29		7.24	5	11.検査の基本 (参1) pp.323-330	<ul style="list-style-type: none"> ・病理組織検査、細胞診について説明できる。 ・特殊染色、免疫染色について説明できる。 	浅野 正岳	D-2-6 病理組織検査
30		7.24	6	平常試験2	<p>授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。</p> <p>試験を行う。</p> <p>試験後にフィードバックを行う。</p>	浅野 正岳	

